

1. 学校教育目標

志をもって、共に学び、よりよく生きる子どもの育成

- (1) **志をもち**とは、「〇〇になりたい。」「〇〇できるようになりたい。」「〇〇を成し遂げたい。」という決意を抱きめざすことである。この志とは、利己的なものだけでなく、家庭・学校・地域など社会全体のことを俯瞰した利他的な視点に立つものである。
- (2) **共に学び**とは、共通の目的又は一人では解決が難しい課題を、これまでに身に付けた知識・技能を活用しながら、周りの人と合意形成を図りながら解決する力のことである。この過程において異なる考えから学んだり、他人を思いやる心を育んだりしてなど、子どもたちに豊かな人間性と社会性、耐性を育むものである。
- (3) **よりよく生きる**とは、知的好奇心・探究心をもち、新たな知識と既習の知識・技能をもとに、主体的に課題を解決しながら自分のめざす道に向かって努力し続ける力のことである。その際、周りの人と豊かに関わりながら、目標に向かって意志決定したり軌道修正したりしながら自己の生き方を創りあげていくものである。

2. 学校の実態

- (1) **児童の実態** 明るく素直で、学習態度も落ち着いているが、自ら考え、粘り強く活動する力に課題がある。
- (2) **保護者・地域の実態** 学校の教育活動に熱心で、協力的である。様々な団体との活動をコミュニティ・スクールの推進とともに効率化していく必要がある。

3. 教育課題

- (1) 主体的な学習、考える力・表現力の育成、個人差
 (2) 自尊感情・自己肯定感の向上
 (3) 運動をする子どもとしない子どもの体力面で個人差

4. 経営課題

- (1) 思考力・判断力・表現力を育成する授業づくり
 (2) やる気に満ちた学校の雰囲気づくり
 (3) 人材育成・若年教員の指導力向上
 (4) コミュニティ・スクールの推進

5. 中期目標・めざす像

自他の良さや伸びを認め合い、目標に向かって挑み続ける子どもの育成

- (1) **めざす学校像** ○活気のある学校
 ○楽しく学び合う学校
 ○保護者・地域と連携し、安心・安全に過ごせる学校
- (2) **めざす児童像** ○確かな学力を身に付けた児童
 ○自他の良さを認め、自他を大切にできる児童
 ○目標達成のために粘り強く努力し続ける児童
- (3) **めざす教師像** ○授業の質を高め合える教師
 ○仕事に誇りを持ち、協働しながら課題解決を図る教師
 ○児童・保護者・地域・同僚から信頼される教師

6. 重点目標

自分で考え、伝えることができる子どもの育成

○学力向上

授業改善・学力基盤

【指標】 単元テスト 思考・判断・表現	80%
【指標】 全国学力調査	全国 109
【指標】 標準学力調査	前年度を上回る
【指標】 考えを伝える（教師の見取り）	80%

○生活向上

【指標】 大和町スタンダード

あいさつ 90% 返事・はきものそろえ（教師の見取り） 80%

【指標】 ルールのある遊び

学校が楽しい 90%

児童は毎月、「自分の目標」をふり返り、評価し、取組み、意欲化を図る。

7. 経営の重点

(1) 校務会による効率化と参画意識を高める取組

校務会において、方向性を示し、学力向上は、研究推進委員会を中心に全職員の協働体制のもと計画的に具体的な方策を立て、共通実践を行う。

生活向上は、各児童会担当が、年間計画をもとにいつ・何を・だれが行い・その成果をどうするかを各児童委員会と連携して進める。

○学力向上【研究推進委員会】

①授業改善

- ・公開授業
- ・週案に重点授業（月2回）を位置づけて、磨き合う場にする。（授業チェックリストの活用）

②学力基盤

- ・音読検定
 - ・条件作文
 - ・計算（金曜屋）
 - ・ノートコンクール
- <日常から学習の足跡を大切に取る取組>

○生活向上【児童の委員会との連携】

大和町スタンダード 「あいさつ・返事・はきものそろえ」

ルールのある遊び

(2) 人材育成・若年教員の指導力向上のための取組

○校内研修

1 「国語科」目指す児童像を明確にして公開授業を行い、授業の質を高める。

- ・「主体的に考えを作る、伝える活動」を適切に位置づけた授業づくり
- ・事前指導・模擬授業の重視
- ・研修の日常化
- ・C層、D層への取組

2 一般研修の充実「算数、人権・同和教育、特別支援教育、ICT教育、プログラミング教育、外国語教育、生徒指導、不祥事防止等」

○重点授業

確実な実施（授業記録シート提出→参観の調整→ふりかえりの確保）

○校外研修

- ・各研修会への参加
- ・市教育研究所の事業活用
- ・サークル活動の奨励
- ・論文応募